

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第128号

発行日 2012年7月1日発行

「リオ+20」参加

こんにちは、近藤です。6月17日から27日まで、1992年6月にリオデジャネイロで開催された地球サミットから20年のイベント「リオ+20」参加のため、リオデジャネイロに行ってきました。私たちRUMアライアンスの活動が認められ、JICAと共同での展示と90分のセミナーを行いました。

19日～24日までの6日間で、私たちのブースには約20か国170名余が訪れ、途上国の自動車リサイクルへの関心の高さを肌で感じる事が出来ました。今回自動車リサイクル業が日本政府パビリオンで静脈産業の意義を世界に発信することが出来たことは大きな成果だと感じています。以下にセミナーでの私の15分のスピーチの一部をご紹介します。

静脈産業と利他の精神

このスライドの下の一文はアフリカのことわざです。「地球は、我々のものではない。子孫に受け継がれていく宝物である」。私たちは、この美しい地球を次世代に残す義務があります。20年前開かれたリオサミットのテーマは持続可能な開発(Sustainable Development)でした。ブルントラント委員会の「我ら共有の未来(Our Common Future)」では、持続可能な開発とは、「将来世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在世代のニーズを満たす開発(Development that meets the needs of the present generation without compromising the ability of the future generations to meet their own needs.)」と定義されました。ここで言うように「将来世代のニーズ」なくして「現在世代のニーズ」はない訳ですから、まずは我われの子や孫の世代に地下資源や天然資源があるかを考えることです。また、「現在世代のニーズ」

についても、明日の生活すら危うい発展途上国のニーズが満たされることです。私たちが進めるアジアやアフリカにおける静脈産業の起業は貧困や廃棄物問題に解決の道筋をつけるグリーン・エコノミーの具体例です。

先ほどのアフリカのことわざや七世代先を考えるアメリカ先住民の心は私たち現代人に受け継がれたのでしょうか。私は、人類の英知は連綿と受け継がれていると思います。昨年3月11日、日本で起きた東日本大震災に遭遇した東北地方の人たちは悲しみを受け入れ、自己よりも他人を思いやって行動したのです。その映像に世界は賞賛と共感を贈りました。

人類は利己的な利益のみを追求する存在ではなく、他者を思いやることに喜びを感じる存在です。普段は心の奥に隠れていても大事が発生したときこの利他の精神が蘇ってきます。私たちがリオサミットから20年、再びこの地に集まったのはこの利他の精神を世界に発信するためです。私は一人の日本人として、ブラジルの人たち、アフリカの人たち、そして世界中の人たちが、このかけがえのない地球を守るために利他の精神を発揮することと共に我々RUMアライアンスは増え続ける自動車のリサイクル、要は静脈産業を確立させてまいります。



～広報コーナー～ キラリと光る存在に

今月は、生産部の 中嶋 裕さんからコメントをいただきました！！



・今月の出番・

生産部
中嶋 裕さん

こんにちは、生産部の中嶋裕です。会宝産業に18歳で入社して早くも3年が経ちました。時間が経つのはあっという間だと改めて感じています。

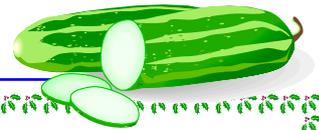
私は現在、リサイクル場で液処理をしています。(液処理というのは車の液類、ガソリン、LLC、ウォッシャー液、オイル、その他にバッテリーやタイヤを外す仕事です)

液処理という仕事を始めて2年くらいになりますが、上司の方々や周りの人に迷惑をかけっぱなしでまだまだ自分は半人前だということを痛感させられています。

これからは、液処理、解体、コンテナ積みみと一台の車が生産される工程を経験してみたいと思っています。しかし、まずは自分の出来ることは何かを考え行動していきたいです。

リサイクル場は会宝産業の玄関前にあり、お客様が最初にご覧いただく場所でもあります。会宝産業の顔として立派になれるように仕事はもちろん、あいさつや服装などの生活面もしっかりしていきたいと思えます。

農業の取組み ～農業事業部より～



～新ハウス始動と現在の作業～

6月初め、ついに新ハウスが3棟とも完成しました。内装の方も完成次第着手していき、終わり次第苗を定植していきました。そして6月下旬、現在の3棟のハウスの様子が下の3枚の写真です。どのハウスも既に片側の1列は定植が終わっていて、そのうちの1棟は反対側の定植も先日終わらせました。今我々の主な作業内容と言えば“収穫と出荷”です。現在収穫できるのは旧ハウスである2棟で、収穫が進み、下の方のトマトはもうほとんどなくなりました。今後新棟も収穫できるようになれば、現在の約5.2倍ものトマト収穫が可能となり、安心してお客様のオーダーに対応できるようになりました。

この時期はトマトがぐんぐん成長して、実も早く熟すので嬉しい限りではあるのですが、その分やるべきことが山のようにあるのも事実です。設備の増設も完了し、本格的に農業参入を果たした私たちはこれからも一層の努力を重ね、頑張っていきます！



改善提案の事例

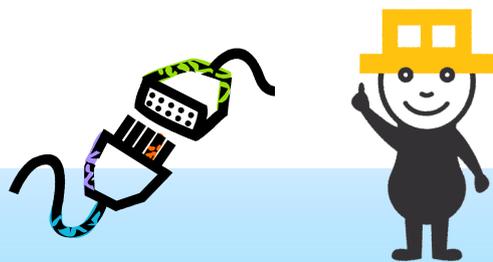
～エアバッグの作動処理～

今回は生産部より、エアバッグの作動処理についての改善提案です。

これまでの現状はエアバッグを展開するのに 1 個ずつ配線を取り出して処理を行っていました。3月のエアバッグ数の装置個数 1,300 個(実績/エアバッグとプリテンショナーの比率が 6 : 4)3月、月間で 5,460 分の展開の時間がかかっていました。(台あたり 3 分 45 秒)

そこでエアバッグを一括作動できる機械を購入しました。エアバッグを一括作動出来る車が 98 年以降の車輦なので、自社の比率で計算すると約 60%が可能となります。年間の処理台数を 13,000 台として計算すると約 80 万円の削減が可能となります。

このように高価な機械を導入しても年間の経費削減が購入費用を上回る場合がある為、他にも経費削減につながるような改善がないか意識して仕事をしていこうと思います。



今月のパチリ☆



皆さんこんにちは！総務部の松本です。

当社では毎年 5 月、6 月に社内勉強会を行っています。今年は計数勉強会、エクササイズ、カメラ、外国文化等々、外部から講師を招いて行う講座が充実しています。全て社員の「学びたい！」という希望から開催が実現しました。

書道家・木多紀芳先生をお招きして行われたペン字講座（全 2 回）では、先生の「脳内文字を上書きしましょう」という印象的な言葉に始まり、正しいペンの持ち方&姿勢、均等に書く方法、ビジネス礼状の書き方等を勉強しました。

参加者は久しぶりに真剣に字を書いて疲れた様子でしたが、コツを得て驚くほど美しい字に生まれ変わった社員もいました。少しのコツと心掛け次第で、字が変わることを学んだ勉強会でした。



勉強会で外部講師を務めていただいた方々（開催日順）

講座	お名前（ご所属）
計数・財務	高松泰子先生（税理士法人金沢セントラル会計事務所様）
カメラ	明直樹先生（Mov 代表）
ペン字	木多紀芳先生（紀ひととき書道教室 主宰）
特別エクササイズ	宮原綾先生（ツエーゲン金沢ランニングクラブ様）
外国文化	山口泰範先生（JICA 北陸様）※ 7/5 開催



相場はどうなの? ～生産部より～

こんにちは、会宝産業の山口です。5月に急落した鉄相場も一段落して、6月は比較的安定した相場の月となりました。しかし、繁忙期に在庫した車輛の原価に悩んでいる同業者の方も多いのではないのでしょうか?

弊社では在庫管理の中で、車輛一台一台の原価を部品からスクラップまで一元管理を行っております。以前一度ご紹介させて頂いたKRAシステムによって、在庫車輛一台一台の車重や部品販売の過去歴から単価下落後の配分原価と販売額を予測して、“今解体しなければならない車輛”を精査しながら工場へ搬入しております。通常、素材単価の下落⇒仕入価格の検討⇒販売に見合った原価の設定となりますが、事前に単価下落後の収益予測が出来ればマイナスが出る前に対処が出来るといった仕組みです。

刻々と単価が変動する我々の業界ではJUST IN TIMEでは間に合わない為、事前の収益シミュレーションに基づく動きが必要だと感じられます。

6月度実績	
入庫台数	1,140台
処理台数	1,105台
ありがとうございます	

こちらをクリックして下さい!



「元気ライスプロジェクト」(写真1枚で参加できるボランティア活動) 「写真を送る」という行動を、起こしていただいた皆様に感謝です。今後も出来ることから、進めていきますのでよろしくお願い致します。

●進捗報告

2012年6月30日現在 **2,944 SMILE**(787日経過)



今月のおまけ

～ 伊那食品工業様 訪問 ～

6月28日に社員30名で伊那食品工業様を訪問してきました。訪問の目的はズバリ「一流企業から学ぼう!!」しかし普段以上の気づき力を持って訪問しようと考え、「特別いいねプロジェクト ～伊那食品様の”いいね”を見つけよう～」という企画を行いました。5人1組のチームをつくり、チーム毎に「いいね」(先方企業の良い所)を見つけ、数を競い合うという企画です。その効果もあり、とても楽しく有意義な時間となりました。後日社内では、全体会議の中でチーム毎に発表を行い、お留守番をしてくれていた社員とも情報や感動を共有しました。

実際に足を運ぶことで伊那食品様の素晴らしさを五感で感じる事ができました。働く皆様の自然な笑顔や対応、敷地3万坪(東京ドーム2個以上の広さ)に広がる会社の思想、講演をいただいた塚越会長の理念など全てが学びでした。



伊那食品工業の皆さま、心から感謝申し上げます。

会宝産業株式会社

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-25
車輛課 (車輛引取り・査定)
TEL 076-237-5133
FAX 076-237-1950
Email: info@kaiho.co.jp

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-23-3
部品課 (部品注文/担当:大森・鹿野)
TEL 076-237-5138
FAX 076-237-6090
Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。
<http://www.kaiho.co.jp/jp/>